

●瑞穂区社協だより

2025.9月
第37号

みずほっと



ほっとくん



特集

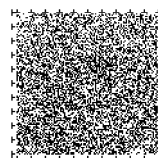
つながる、ひろがる、
瑞穂区内の子ども食堂 コミュニティ食堂

トピックス

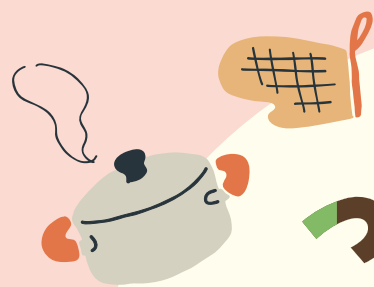
- 学区探訪 vol.11 汐路学区 ●瑞穂区のほっとするお話
- こんにちは♪いきいき支援センターです!! ●HOTなきもち ●ほっとなつぶやし

■ 編集・発行／社会福祉法人 名古屋市瑞穂区社会福祉協議会 ■ webサイト／<http://www.mizuho-shakyo.jp>

高齢者や目の不自由な方にも専用のアプリで読み取ると本紙の内容を「音声で聞く」ことができる Uni-Voice コードを載せました。
お問い合わせは瑞穂区社会福祉協議会までご連絡ください。



Uni-Voice コード



つながる、ひろがる、

瑞穂区内

多様な「子どもの居場所」

一人ひとりがそれぞれ誰かにとっての特別な存在
**この場所が 自分の
かけがえのない大切な「居場所」**

瑞穂区では、現在約10か所の子ども食堂と
コミュニティ食堂が活動しています。(令和7年5月現在)

それぞれの活動は様々ですが、子どもたちが高齢者や
地域の方々と交流をしたり、学生がボランティアとして活
動するなど、さまざまな取り組みが行なわれている子ど
も食堂の今をレポートします。

●「食」と「居場所」で地域をつなぐ 子ども食堂

子ども食堂は、地域のボランティアや民間の団体など
により運営され、無料または低額で食事を提供しています。

取り組みは全国で広がり、名古屋市では143か所の子
ども食堂が開設されています。(令和7年5月31日現在)

子ども食堂は、地域の方々が力を合わせて運営をして
いることが大きな特徴とも言えますが、運営する団体は、
任意団体（市民活動・ボランティア）が最も多く、次い
でNPO法人や個人によって支えられています。

近年、子ども食堂は、食事の提供だけでなく、子ども
の居場所や、世代を超えた地域住民の交流の場としての
役割も果たしています。

さらに、ひとり親家庭の支援や生活に課題を抱える家
庭への支援など、一人ひとりの状況に寄り添った支援を
行う団体もあり、その活動は多岐にわたっています。

●子ども食堂の現状と課題

子ども食堂の活動は、その多くがボランティアの皆さん
や地域の方々の熱意によって支えられています。

近年では、個人からの支援やフードバンクなどを通じ
た食材の寄付、さらには企業・団体からの助成金など、
さまざまな形での支援の輪も広がっています。

一方で、昨今の物価高騰により、運営資金の不足や寄
付物品の減少、また運営スタッフや後継者の確保などの
課題もあります。

●子ども食堂が育む将来への期待

子どもたちには、地域の方々との交流を通じて、自分
が地域のなかの一員であると感じてもらうことが大切
です。人々のあたたかさに触れたり、楽しい体験を重ねる
ことで、地域やそこに暮らす人々への愛着が育まれること
を切に願います。

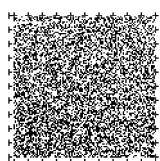
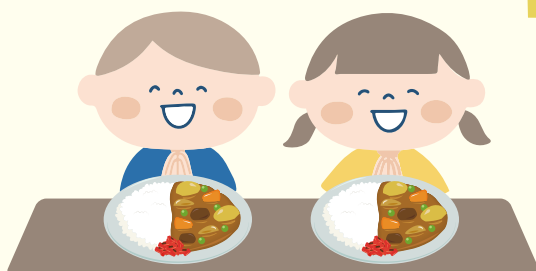
また、子育て世代にとって安心して過ごせる場所が増え
ることは地域全体に活気が生まれ、住民同士のつながり
が深まり、支えあう環境が浸透・定着していくことでしょ
う。

そのような地域のつながりが進むことで、すべての世代
の人々が安心して暮らせるまちへと福祉のまちづくりに向
けた機運が高まっていくことが望まれます。

これからも子ども食堂は、多くの方々の居場所となり、
人と人との笑顔でつながっていく「架け橋」的な存在とし
て期待されています。

フードバンク：

安全に食べられるのに流通に出すことができない食品を企業などから寄
贈していただき、必要としている施設や団体などに無償で提供する活動



の子ども食堂 コミュニティ食堂

子ども食堂を
応援する方法

「運営者同士のつながりづくりの場」 子ども食堂・コミュニティ食堂 交流会

瑞穂区内で子ども食堂およびコミュニティ食堂を運営している団体同士が交流をし、つながりを作るための連絡会を年2回開催しています。

運営者同士が顔を合わせて情報を共有し、意見を交換することで、団体間のつながりを築いています。

運営者が抱えている悩みを相談できる場、また共に学ぶ機会としても活用されています。



令和7年度第1回交流会の様様

コミュニティ食堂：

地域住民が世代を超えて気軽に集まり、食事を通じて交流を深めることができる場所のこと
地域食堂・みんなの食堂とも呼ばれることがあります

Voice

瑞穂区内子ども食堂の皆さんにお伺いしました

Q 参加者からスタッフになったきっかけを教えてください

はじめは母に「子どもたちに会えるし、お弁当もいただけるから行ってみようか？」と誘い、みんなの食堂と出会いました。参加してみると、とても楽しく、その後も何度か母と一緒に足を運びました。

私は以前からボランティアに関心があったので、母が日中を過ごせる場所を見つけたのをきっかけに、思い切ってボランティアとして活動をするようになりました。

活動を通して私自身の人生にも張り合いが生まれ、これから多少でも力になれば嬉しいと思っています。



Q 子ども食堂を立ち上げたきっかけを教えてください

地域に暮らす子どもたち同士の繋がりを作りたい、子どもたちに温かいご飯をお腹いっぱい食べさせてあげたいと思っていました。同じように「子ども食堂をやりたい」と考えていた人に出会えたことがきっかけとなり、子ども食堂をスタートさせることになりました。

Q 子ども食堂や学習支援を応援していて嬉しいことはありますか？

子どもたちから「無事学校を卒業して就職しました」と感謝の言葉をいただいたり、成長した今でも相談に来てくれることがとても嬉しいです。



メッセージ

子ども食堂のスタッフの皆さんへ

子ども食堂の企画や準備や片付けなど、大変だと思います。いつも本当にありがとうございます。子どもたちが楽しめるように、日々考えてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。

子ども食堂の温かいご飯をいただいたり、周りの人の優しさに触れたり、子ども同士の関わりが持てたりと、毎回とても嬉しいです。



▶ 寄付金で支援する

運営するにあたって食材の仕入れや場所の確保など、さまざまな費用がかかります。寄付をすることで、こうした費用の負担を減らし、より継続的に活動を応援することができます。

ホームページやSNSなどで事前に活動内容を確認してから寄付するようにしましょう。

▶ 食品などを提供する

子ども食堂の運営団体に直接寄付する方法や、フードバンクを通じて食品を支援する方法があります。

ただし、受付られる食品には一定の条件があります。特に、賞味期限には留意して届けるようにしましょう。

▶ スタッフとして協力する

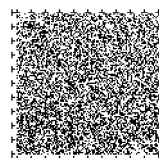
自身がボランティアスタッフとして参加する方法もあります。

ボランティアの種類はキッチンスタッフなどさまざまです。また、イベントがある時にボランティアとして協力することも一つの方法です。

▶ おねがい

支援物資のご提供やご寄付などをご検討いただく際は、必ず事前に各団体へご確認くださいようお願いいたします。

瑞穂区内の子ども食堂・
コミュニティ食堂は、
本会ホームページから
ご案内しています



～手作りの食事がつなぐ地域の輪～ ふれあい給食会

汐路学区では、40年以上にわたり毎月2回、ふれあい給食会を開催しています。毎回、管理栄養士の方がメニューを考案し、「汐路給食ボランティア友の会」の皆さんが朝7時から準備に取りかかり、心のこもった手作りの食事が提供されています。

手作り料理で
参加者をおもてなし



近年、汐路学区では一人暮らしの男性が増えていることもあり、給食会では男性の参加も目立つようになりました。手作りの食事の美味しさや参加者同士の交流の楽しさが口コミで少しずつ広まり、参加者も増加傾向にあります。

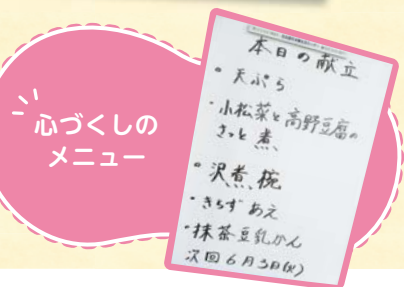
当日は40人を超える方が参加され、皆さん美味しそうに食事を楽しまれていました。参加者からは「毎回楽しみにしています」といった笑顔の声も寄せられ、温かい雰囲気に包まれていました。



仲間と語らう楽しいひと時



彩り鮮やかに盛付けにひと工夫



心づくしの
メニュー

瑞穂区のお話

ご存じですか？「瑞穂福社会館」

福祉会館とは…名古屋市内にお住まいの60歳以上の方が、いきいきとしたシニアライフを楽しむための施設です。

登録いただければ休憩もOK! 立ち寄り場所としてお気軽にご利用くださいね♪

こんなこと、やっています!

趣味講座

健康体操、作品づくり、伝統文化などの趣味・教養講座を開催。
初心者向けの講座です。【募集：1～2月】

同好会

英会話、健康マージャン、太極拳、フラダンス、楽器演奏など様々なジャンルの団体が活動中!

その他

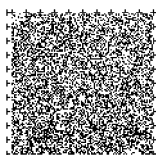
- 運動系/文化系の単発講座・脳活サロン
- 音楽会・映画会・レコード鑑賞会・歌う会など
- 自由利用(囲碁・将棋、入浴、卓球など)

認知症予防教室 「きらきら」

- 健康体操 ●音楽療法 ●回想法
 - コグニサイズ ●手工芸 など楽しく認知症予防に取り組みます。
- 対象：65歳以上の名古屋市民の方 定員：各12名
日時：週1回(火・水・木曜日のいずれか) 10:00～12:00(期間6か月)
参加費：無料(材料費などは実費負担) 募集：2月(4月開講)と8月(10月開講)

認知症 「予防リーダー」 養成講座

- 認知症予防を、地域に広めていただく方を養成する講座です。
 - この講座を受けることが、何よりの認知症予防になります。ご自身のために始めませんか?
- ★次回開講のご案内★ 令和7年11月から12月の5回+外部講習あり
9月12日(金)～9月30日(火)の間に会館まで電話もしくは来館で申込。
対象：60歳以上の名古屋市民の方 定員：5名 日時：おもに金曜日13:30～15:30(曜日・時間が異なる場合あり)
参加費：無料(交通費などは実費負担)



瑞穂福社会館

住所：瑞穂区萩山町1-22 電話：841-3113 FAX：841-1348

開館時間：8:45～17:00 休館日：日曜日・祝日・年末年始

【福祉会館は、市内在住60歳以上の方が利用できます。(事前に「利用証」の交付が必要です)】



ホームページ

●区民の皆さまからのほっとする情報・お写真も募集しております。

こんにちは♪ いきいき支援センターです!!

その1 チームオレンジの活動が始まりました!

「チームオレンジ」とは、認知症サポーターやその他支援者によって構成されるチームです。認知症の方が住み慣れた地域で暮らし続けることができるように、本人および家族の困りごととその支援者をつなぐ仕組みづくりを目的に活動をしていきます。

今年度より本格的に活動を開始。定期的で開催される認知症啓発イベントでもボランティアとして活動していきます。ぜひご注目ください!!



その2 「認知症の人にやさしい店」のご紹介

「認知症サポーターが従業員に在る」などの要件を満たした瑞穂区内の店舗が「認知症の人にやさしい店」として登録し、認知症の人やそのご家族を温かく見守っています。瑞穂区内では令和7年5月末時点で77店舗が「認知症の方にやさしい店」として登録されています。登録店舗にはピンク色のステッカーを交付しています。街中で探してみてくださいね。



令和7年度 下半期(令和7年10月~3月)「認知症の人を介護する家族支援事業」のご案内

1 認知症家族教室(10月~2月)

対象：認知症の人を介護しているご家族

認知症の人を介護しているご家族は、いろいろと不安に感じたり悩んだりされることと思います。この教室では、認知症の知識を深め、介護者同士の交流をとおして、一人で悩まず介護できるようにお手伝いいたします。

東部 第2金曜日	西部 第3火曜日
10時00分~ 12時00分 ※11月は13時30分~ 15時30分	13時30分~ 15時30分

2 家族サロン

対象：認知症の人を介護しているご家族・介護経験のある方

認知症の人を介護しているご家族が、不安や悩み(たまにはグチも...)を自由に話し合える場です。介護や生活の情報を交換して、少しホッとしていただけるようお手伝いいたします。

東部 第1水曜日	西部 第4木曜日
13時30分~ 15時30分 ※3月は第2水曜日	13時30分~ 15時30分

3 もの忘れ相談医による専門相談

対象：もの忘れのことで不安のある方・ご家族

もの忘れ相談医とは、認知症など診断の知識・技術、ご家族からの悩み等の相談に応じるための研修を修了している、地域の専門医師のことです。その医師と認知症の症状や治療について気軽に個別相談できる場です。

東部 第2木曜日	西部 第4水曜日
13時30分~ 15時00分 ※11月は第1木曜日	13時30分~ 15時00分

お問い合わせ先・申込先

●瑞穂区東部いきいき支援センター

電話 858-4008 FAX 842-8122

●瑞穂区東部いきいき支援センター分室

電話 851-0400 FAX 851-0410

担当地域 豊岡・中根・弥富・陽明・汐路小学校区

●瑞穂区西部いきいき支援センター

電話 872-1705 FAX 872-1707

担当地域 御劔・高田・堀田・穂波・井戸田・瑞穂小学校区

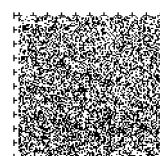
お友だち
募集中!



公式 LINE



ホームページ



令和
7年度

賛助会員を募集しています

本会では区民の皆さまに賛助会員になっていただき、その会費を財源とした様々な事業を実施しております。皆様からお寄せいただきました賛助会費は、地域福祉活動を進めるための大きな役割を果たしており、貴重な財源として活用させていただいております。

※賛助会費は、税法上の優遇措置を受けることができます。(法人の方は損金算入) 個人会員の場合は2,000円を超える額から控除対象となります。

各学区で集められました賛助会費については、来年度の地域福祉活動の財源として9割、残りの1割は瑞穂区全体の地域福祉活動のために役立てられます。

賛助会費がささえる 身近な地域の福祉活動



令和7年度 賛助会費
年会費

《個人》 10 1,000 円
《法人・団体》 10 10,000 円

令和6年度 賛助会員ご紹介 (法人・団体) ご支援いただきました皆様に深く感謝申し上げます

【順不同・敬称略】

- ・有限会社アイ・ケーサポート
- ・社会福祉法人 あいうえおハウス
- ・医療法人一樹会 浅野眼科クリニック
- ・朝日実業株式会社
- ・特定非営利活動法人 あたたかい心
- ・石原機械株式会社
- ・有限会社オオタサイクル
- ・岡崎信用金庫 瑞穂支店
- ・株式会社 KAERU かえる訪問看護ステーション
- ・医療法人ホープ 久米クリニック
- ・ケアプランセンター陽明
- ・株式会社興和工業所
- ・駒田印刷株式会社
- ・株式会社さくらリバス
- ・株式会社シュテルン 名古屋南
- ・昭和青色申告会

- ・すがの皮膚科
- ・医療法人浩聖会 すぎやま歯科
- ・認定 NPO 法人 すけっとファミリー
- ・学校法人瀬木学園
- ・医療法人幸世会 セントラル堀田
- ・そんぼの家 高辻
- ・有限会社ダイユー
- ・タック株式会社
- ・中電不動産株式会社
- ・有限会社妻木興業
- ・TK クリニック
- ・株式会社東海商事
- ・東名水処理株式会社
- ・株式会社土建山川組
- ・戸松冶金株式会社
- ・特別養護老人ホーム なごやかハウス岳見

- ・医療法人幸世会 西本病院
- ・日昭電工株式会社
- ・株式会社ブーケ リぼんケアサービス
- ・有限会社瑞穂ビル
- ・産婦人科 水野クリニック
- ・みずほ在宅支援クリニック
- ・三井住友銀行 八事支店
- ・株式会社三輪本店
- ・株式会社安江
- ・株式会社山田産業
- ・山内殖産株式会社
- ・株式会社ヤマイチテクノ名古屋支店
- ・ライチ産業株式会社

賛助会費の使いみちなどはこちら▶

※掲載を希望された会員様(法人・団体)のみ掲載しています。



令和6年度 賛助会費 総額 3,516,000 円 《個人》 3,041,000 円 《法人》 475,000 円

HOT なきもち

本会にご寄付いただき、ありがとうございました。

(令和6年12月～令和7年5月)
※順不同

寄付金

- 日本キリスト教団 尾陽教会 様
- 匿名 3 件

※お寄せいただいた寄付金は本会地域福祉基金等として受け入れ、その果実(利息)により、各種社会福祉事業の実施等、地域福祉の推進に活用させていただいております。

寄付物品

- 食料品、紙おむつ、ラジカセ、食器、毛糸等を多数の方からご寄付いただきました。

※寄付物品につきましては、本会事業に活用させていただきます。

ほっとなつぶやき

編集後記

今号の学区探訪で紹介しました瑞穂区のふれあい給食会の歴史は古く、今回紹介しました汐路学区の昭和56年からをはじめ、昭和の時代から活動されている学区が5学区(汐路・豊岡・瑞穂・弥富・御劔学区)あります。ひとり暮らし高齢者や障がいのある方々の交流の場として、約40年にもわたり地域に根ざした温かな支援の輪を育んできていただきましたことに深く敬意を表しますとともに、皆様の思いやりと支え合いの力が次の世代へと受け継がれていくことを願っています。(丹)

編集発行

社会福祉法人
名古屋市瑞穂区社会福祉協議会
〒467-0016 名古屋市瑞穂区佐渡町3丁目18番地

電話

(052)841-4063

FAX

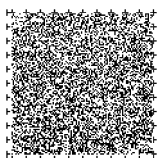
(052)841-4080

webサイト

<http://www.mizuho-shakyo.jp>

メールアドレス

mail@mizuho-shakyo.jp



最寄駅

地下鉄 桜通線瑞穂区役所駅
下車260m(区役所東方面)

